

目次

第Ⅰ部 異民族統治をめぐる〈比較のポリティクス〉

第1章 トランスインペリアル・ヒストリー

——連関、協力、競合—— ダニエル・ヘディングー、ナデイン・ヘー（山田 智輝 訳）

000

第2章 リベラルな帝国とファシスト帝国の境界を曖昧にする

——国際植民地研究所と植民地コーポラティズムへのトランスインペリアルな転回——
（一九〇〇～一九五〇年） フロリアン・ヴァーグナー（山田 智輝 訳）

000

第3章 ファシスト国際主義

——消滅した枠組みから挫折した概念へ？—— ダニエル・ヘディングー（溝口 聡美 訳）

000

第4章 《帝国知翻案者》の可能性——帝国思想分析の方法論的思索——

馬路 智仁

000

第Ⅱ部 帝国の〈はざま〉における経験——移動・帰属・入植

第5章 トランスインペリアル・ヒストリーからみた入植者植民地主義

東 栄一郎（友寄 元樹 訳）

000

第6章 三つの帝国のはざま

——シオニズムとロシア・オスマン・イギリスの国際政治——

鶴見 太郎

000

第7章 日米帝国のはざま——ハワイ沖縄移民の沖縄戦——

増淵 あさ子

000

第Ⅲ部 トランスインペリアルな被支配経験——もつれあう抵抗と連帯

第8章 トランスインペリアル・ヒストリーからみた反植民地主義

水谷 智

000

第9章 請願と出版文化——英仏による旧独領トーゴの分割占領をめぐる——

山田 智輝

000

第10章 相互的な主体化への道

——近代帝国史の文脈における台湾・香港関係——

呉 叡人（駒込武 訳・解題）

000

第11章 抵抗の連帯か帝国の拡張か

——タスキギー・モデルのリベリア移転にみるパン・アフリカ主義の両義性——

中尾 沙季子

000

あとがき

000

執筆者紹介

000

トランスインペリアル・ヒストリー——植民地主義への新たな視座